

15

-中・西部-

ふなせ はるか
船瀬 春香徳地和紙ワークス 代表
YY!ターンコンシェルジュ

応募のきっかけは?

東京で会社員として20年ほど働いていましたが、クリエイティブな仕事をしたいという思いが募り、友人に相談したところ、協力隊について教えてくれました。日本全国の募集情報を調べ、「山口市徳地手漉き和紙の技術継承」というミッションに惹かれて応募しました。

着任してみて、想像と違っていただけましたか?

応募を決めてから、和紙産地をいくつか訪問して紙漉き体験をしたり、研究会に参加したり、関連本を読み漁ったりしました。それでも、着任してみたら、あらゆる環境や作業が想定外でした。

成長したな、と思う点がありますか?

小さい集落での暮らし、人間関係、車生活、気候、農作業、紙漉きなど、全てのこと

が自分には初めてで、新鮮ながら難しく、驚きと失敗の連続でした。その分、多くのことを吸収できたかなと思います。

困難なことはありましたか?

振り返れば苦笑いですが、人間関係のこじれでずっと悩んでいました。協力隊の先輩が相談に乗ってくれたのが救いでした。こじれは解消しないままでしたが、教訓として心に留めています。

恩人を挙げるとしたら?

紙漉きのお師匠さんである千々松和紙



隊員時代: ワークショップ



工房の千々松哲也氏とご家族の皆様です。惜しみなく何でも与え、ご指導くださいました。活動地域の方々、市役所の方々、協力隊の先輩と同僚、和紙作家の方々にも、多大なサポートと励ましをいただき感謝しています。退任後もお世話になっています。

現在、そしてこれからについて

現在は、「徳地和紙ワークス」を起業し、千々松和紙工房を受け継いだ千々松友之氏(P.30掲載)と連携しながら、原木栽培、紙漉き、商品開発、アーティスト交流、和紙作りを通じた研修などを行っています。また、山口県の移住相談員であるYY!ターンコンシェルジュもさせていただいています。

将来は、徳地和紙を通じて、国内外問わず、交流のきっかけや自己発見、創造的発想の機会を提供していきたいと考えています。そして、伝統を次の世代に引き継いでいくのが目標です。



徳地和紙の折染

協力隊を目指す人や後輩へのアドバイス

人間関係や活動環境が悪化したとしても、「このために移住した」というものがあると、心の支えになります。そして、困った時は一人で抱え込まず、気軽に相談し、粘り強く交渉すれば良かったというのが、私の大きな反省点です。

ふなせ はるか
船瀬 春香さん

▶ 協力隊として

| 着任地 | 山口市(徳地)
| 活動期間 | 2015年6月~2018年5月
| 活動内容 | 徳地和紙の技術継承

▶ 現在の仕事

徳地和紙ワークス 代表、YY!ターンコンシェルジュ
| ホームページ |
<https://www.ymg-uji.jp/consultation/concierge/>



船瀬さんのあゆみ

- 2014.冬 ○ 友人から協力隊制度について教わる
- 2015.6 ○ 協力隊着任
- 2015.夏~冬 ○ 季節の移り変わりの美しさに胸を打たれ、虫の多さに震え、冬の寒さに凍える
- 任期中 ○ 原木栽培
紙漉き
イベントでのワークショップやラジオ、地域広報誌などで徳地和紙をPR
- 2017. ○ 任期満了後を考え始めるが、イメージがつかず
- 2018.5 ○ 協力隊卒業
消去法で起業を検討
- 2018.6 ○ 「徳地和紙ワークス」起業
副業(アルバイト)が収入源
(和紙の仕事とバイトで過労に倒れる)
- 2018.9~ ○ 「山口ゆめ花博」で17日間ワークショップ開催
累計926人が参加
- 2018.10 ○ 中国杭州で開催された「日本伝統工芸品展」に出展
- 2019.4 ○ YY!ターンコンシェルジュに着任
- 2019.夏 ○ 特大サイズの和紙の染め加工に取り組む